

# 地域のことは 地域で決める— そんな福島の実現

協働の  
コーディネーター



人間発達文化学類 教授 学術修士

牧 田 実

MAKITA Minoru

[専門分野] 地域社会学、コミュニティ政策学

【プロフィール】名古屋大学大学院文学研究科博士後期課単位取得退学。まちづくりとコミュニティに関する分野での実証的な研究に携わっており、地域における地縁型組織とテーマ型組織の連携、住民と行政との協働に関心がある。社会的活動としては、認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンターの理事長を務めている。

私は、認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンターという長い名前の団体の理事長を務めています。ネットワークセンターは、中間支援のNPO、すなわちNPOを支援するNPOとして、2000年、福島大学の教員と民間の市民活動家と一緒に立ち上げたものです。

現在は、中間支援センターとして、ふくしま地域活動団体サポートセンター（福島県委託）と福島市市民活動サポートセンター（福島市よりの指定管理）の運営を担うとともに、市民活動フェスティバル、研究会の主宰、助成金事業などをとおして、市民セクターの底上げに取り組んでいます。震災復興の局面では、ふくしまNPO・市民活動団体連携

復興プロジェクト会議を立ち上げ、被災者や活動団体のニーズと支援団体および企業のシーズとのマッチングを図る事業にも取り組んできました。

これからのまちづくりには、資金力とマネジメント力を備えた企業をいかに巻き込んでいくかが重要になってきます。町内会・自治会などの地縁型組織、NPO、ボランティア・市民活動団体などのテーマ型組織、行政と企業と大学、それぞれの強みを活かした連携・協働のカタチを作り出していくために、地域社会の研究者として、またNPO活動の実践家として、力を尽くしたいと思っています。



### 研究概要

「コミュニティとまちづくり」をテーマとして、地域社会に関する研究を行っています。まちづくりを住民による主体的な地域形成の営為として捉え、その存立条件と展開過程を、おもに自治体のコミュニティ政策と地域住民組織・NPOの動向との関連から明らかにしたいと考えています。また、外国(タイ)の住民組織についての比較研究も進めています。アンケート調査を含めた豊富な調査経験を活かし、まちづくりへの実践的なアドバイスをを行います。



こんなことができます!

地域における住民主体のまちづくりをサポートします

地域産業振興

想定するパートナー

自治体、地域住民組織、NPO法人

具体的な連携、事業化のイメージ

アンケート調査の設計・集計、共同研究・提言

#### これまでの取組事例

- ・福島市総合企画アドバイザー
- ・福島市放射能に関する市民意識調査
- ・郡山市市民協働のまちづくり推進協議会
- ・福島市行政改革推進委員会
- ・上越市地域協議会検証会議
- ・玉川村まち・ひと・しごと総合戦略有識者会議

#### 関連情報

『地域自治の最前線』(2013)  
『日本コミュニティ政策の検証』(2014)

#### 私たちの研究室自慢!

先生の研究室では、ゼミの学生向けに本やDVDの貸し出しをしてくれています。ジェンダー、アニメ、政治など、社会学は幅広い分野を扱うので、卒論のテーマ選択が非常に柔軟なところもゼミの自慢です。

